

桧山 嘉郎¹・久保田 信¹・戸部 博²・中西 弘樹³：
変わった型のココヤシの和歌山県白浜町番所崎への漂着記録

Yoshiro KASHIYAMA¹, Shin KUBOTA¹, Hiroshi TOBE² and Hiroki NAKANISHI³: Records of an unusual type of *Cocos nucifera* washed ashore on Bansho-zaki, Shirahama in Wakayama Prefecture, Japan

和歌山県白浜町の番所崎の磯浜や砂浜には、南方より黒潮に運ばれて漂着するいくつかの植物の果実が知られる(久保田ほか 1999)。もっとも目に触れやすい大型の果実は食用の“ヤシの実”(=ココヤシ) *Cocos nucifera* L. である。ところが、今回報告する“ココヤシ”(Fig. 1)は、番所崎にしばしば漂着する本種の普通の形のものとは異なり、初めて発見した時はココヤシとは思えないほど形態的に異なり、細長く稜が明瞭なものであった。このような特異なココヤシは漂着数も少なく、番所崎には過去13年間に(2003年8月末まで)、たった3個だけが下記のように発見された。

漂着場所：和歌山県西牟婁郡白浜町番所崎の磯浜海岸

発見年月日：1990年代前半に2個を桧山が発見し、1999年9月25日に久保田が1個を発見。

大きさや形状など：Table 1に示したように、3個ともほぼ同じ長さであったが、最大幅や最少幅が多少異なる細長い形で、3稜が明瞭であった。1990年代前半に漂着したものは外果皮がほぼ消失していた(Fig. 1の左2個)。1999年に漂着したものは(Fig. 1の右1個)、表面に、ほぼ太平洋全域に分布し、浮遊物体に群生して付着し浮遊生活を送る蔓脚類のエボシガイ *Lepas anatifera* Linnaeus が数十個体付着していた。

これら3標本とも通常のココヤシの形状とは異なり、一見して細長いのが特徴で希少な例と思われた。しかし、わが国に漂着するココヤシの果実の形状は変異に富んでおり、小さなものから大きなもの、そして紡錘体形から球形に近いものまで様々な大きさや形状のものが漂着している(中西 1990)。和歌山県白浜町番所崎に漂着するココヤシの多くは、本3標本を除きいずれも丸くよく膨らんでおり、日本各地の店舗や東南アジア諸地域で販売されているものと同じである。中には、通常形の新鮮なものが半分に切られて漂着している場合に複数回遭遇した。後者の場合は、輸入され店頭で販売後、食用となり投棄されたのが明らかである。しかし、今回報告したような細長い形のもので、どこかで販売されていたり、切断されて番所崎およびその周辺地域の白浜町に漂着したこともない。

本標本はすべて、長さでは通常の大さきの範囲内であり、未熟なあるいは不完全な熟しかたをした果実ではなく、“ココヤシの1品種”として確立している可能性もあるので、今後は、各地での生物学的精査が必要であろう。

Only three specimens of a slender type of *Cocos nucifera*, among many specimens of the ordinary form, were collected at Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan, a seacoast facing the Pacific Ocean during the past 13 years. This is the first record of arrival of the fruit with such an unusual shape at this place, as rare cases, carried by the warm Kuroshio from southern foreign area.



Fig. 1. Slender type of a coconut *Cocos nucifera* stranded on the beach of Bansho-zaki at Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan. The left two specimens were stranded in the first period of 1990's, and the right one was in September, 1999. Scale is 186mm in total length.

Table 1. Dimension of a slender type of a coconut *Cocos nucifera* stranded on the beach of Bansho-zaki at Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan.

漂着年	長さ (mm)	最大幅 (mm)	最少幅 (mm)
1990年代前半*	218	ca 120	ca 115
1990年代前半*	240	113	110
1999年9月	233	112	105

* 外果皮が剥奪

引用文献

- 久保田信・田名額英朋・榎山嘉郎。1999。和歌山県田辺湾に漂着したゴバンノアシ (サガリバナ目, サガリバナ科)。南紀生物, 41(2): 129-130。
中西弘樹。1990。海流の贈り物。254pp., 平凡社, 東京。

¹ 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町臨海459 京都大学瀬戸臨海実験所; ² 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院理学研究科植物学教室; ³ 〒852-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学教育学部生物学教室 ¹ Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University, Shirahama, Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan; ² Department of Botany, Graduate School of Science, Kyoto University, Kyoto 606-8502, Japan; ³ Department of Education, Nagasaki University, Bunkyo-machi, Nagasaki 852-8521, Japan